

理学療法学科

清水 新悟

助教

【研究分野】

足底挿板療法、スポーツ工学、義肢装具学

【キーワード】

アライメント評価、足底挿板、腰部側弯症、外反母趾、治療効果

【U R L】

<https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=329shimi>



アライメント評価による足底挿板療法 義肢装具療法のエビデンスと未来

研究概要

現在、足底挿板は、スポーツジムや靴屋など様々な箇所で製作、販売されている。しかし、アライメント評価を正しく行って、製作しているのかは、疑問であり、専門分野でない方々が、マニュアルで製作しているのが多数である。私は、人の動きを変化させる足の裏に貼るパッドや足底挿板の研究を何十年と行ってきた。人の動きを細かく評価することで、正しい足底挿板療法や義肢装具療法が可能となる。

研究紹介

■腰部側弯症に対する足底挿板療法の有効性

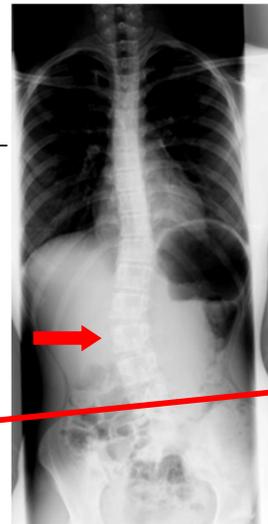
特発性側弯症に対し、足底挿板療法を行い、足底挿板装着6か月後に、cobb角 28度から14度、PCRLが 6°から3°に改善した。



パッド装着時



完成図



装着前

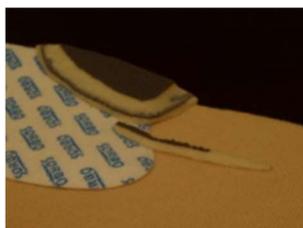


装着6か月後

清水新悟 他、思春期側弯症腰椎カーブに足底挿板療法を用い、側弯の改善をみた1症例、臨床整形外科、第46巻3号、pp269-173、2010

■外反母趾に対する足底挿板療法の有効性

足底挿板療法にて、装着6か月後に、外反母趾角が、右28度が18度、左31度が25度へ改善した。M1M2角、M1M5角も改善した。



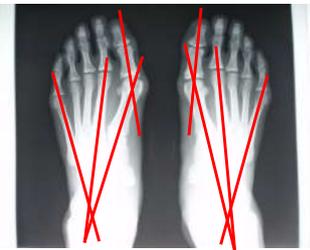
骨誘導パッド



パッド装着時



装着前



装着6か月後

清水新悟 他、外反母趾角を短期間で改善させるための足底挿板療法の試み、理学療法学、第36巻6号、pp.359-365、2009

アピールポイントなど

- ・病院や福祉施設との臨床研究の実施
- ・企業様との義肢装具や歩行支援機器などの開発
- ・義肢装具療法の評価などの研修会の実施
- ・サッカーチームのトレーナー活動